

『分類語彙表』における多義語について

山崎誠(国立国語研究所・客員教授)

1.はじめに(概要)

➤ 2004年に刊行された『分類語彙表増補改訂版』(以下、分類語彙表)は多義語を増補しているとのことであるが、例えば、「切る」は『三省堂国語辞典第八版』では動詞のブランチが26個、造語成分としてのブランチが3個あるが、『分類語彙表』と対照させると、単独の見出しがあるものが3個、「スイッチを切る」のように連語として見出しがあるものが5個で、計8ブランチしか対応していなかった。本発表では『分類語彙表』に収録されていない多義語の意味を拾い上げ、増補の候補とすることである。

2.分類語彙表における多義の認定方法

➤ 便宜的に各分類項目+段落番号を、多義語を構成する各意味に対応するものとする。分類項目だけでなく、段落番号を加えた理由は、サッカーの「シュート」と野球の球種の「シュート」のような、読みと表記が一致するものが、同じ分類項目に配置されている例があるためである。段落番号でみると、これらの2語は異なるものになっている。

➤ 「語」は、表記と読みが一致するものを同じ語とみなすことにする。ただし、この方法では、花の「リラ」(lilas)と通貨単位の「リラ」(lira)が同じ語になってしまうという問題がある。

3. 多義語「切る」の掲載状況 『三省堂国語辞典』第八版との比較

「切る」の意味(語釈と例文)	分類語彙表での有無	分類番号と項目名
①刃物(はもの)などで、一つのものをはなればなれにする。断(た)つ。「枝をー糸をー」	○	2.1571切断
②刃物などできずつける。「指をー」	○	2.1571切断
③切ってあける。「封(ふう)をー」	×	2.1553開閉・封
④金属に刻みつける。「銘(めい)をー」	×	2.1570成形・変形
⑤切って内がわに作る。「ポケットをー・炉(ろ)をー」	×	2.1570成形・変形
⑥「切りはなして」作る。「伝票をー・手形をー」	×	2.3770授受
⑦配布する印刷物を作る。「レジュメをー」	×	2.3832出版・放送
⑧「空間に」まっすぐに線を引く。「空(くう)をー・十字をー」	×	2.1510動き
⑨「よけいな水分などを」取り去る。「水をー・襦(あ)げものの油をー」	×	2.1251除去
⑩「関係を」きっぱりなくす。「縁(えん)をー」	△	2.3500交わり【縁を切る】
⑪切り捨てる。「下請(う)けをー・苦手な授業をー[=もう出席しない]」	×	2.1251除去
⑫とちゅうでやめる。「話をー」	×	2.1503終了・中止・停止
⑬「スイッチを動かして」電流をとめる。	△	2.3850技術・設備・修理
⑭「カメラのシャッターボタンを」おす。	×	2.3850技術・設備・修理
⑮顔を動かして、その方向に向く。また、左右に回す。「正面をー・ハンドルをー」	×	2.1730方向・方角
⑯あるかまや態度をとる。「みえをー・鯉口(こいぐち)をー[⇒「鯉口」の用例]・しらをー」	△	2.3030表情・態度
⑰「斬る」刃で、きる。殺す。「寄らば一ぞ・泣いて馬鹿(ばしょく)をー[⇒「泣く」の【(句)】】	×	2.3440犯罪・罪
⑱「斬る」えんりよなく、批判する。「現代の世相をー」	×	2.3135 批評・弁解
⑲そのときまでで、それ以後は受けつけないことにする。「百番でー・期限をー」	×	2.1721境・間
⑳ある数より下になる。「残り二〇秒をー」	×	2.1584限定・優劣
㉑(中を分けて)勢いよく進む／進み出る。「先頭をー・スタートをー」	△	2.1525連れ・導き・追い・逃げなど
㉒思い切って手放す。「飛車をー・礼びらをー」	△	2.3700取得
㉓ふだをさし出す。「カードをー[=切りふだを出す]・名刺(めいし)をー」	×	2.3770授受、2.3710経済・収支
㉔そろえたままのふだをまぜあわせる。「カルタをー[=よくまぜて、くばる]・カードをー」	×	2.1550合体・出会い・集合など
㉕水面に当たってはねかえる。「投げた石が水を切ってとぶ」	×	2.1525連れ・導き・追い・逃げなど
㉖<<すもう>>まわしにかかった相手の手をはなさせる。	×	2.3374スポーツ
以下、造語成分として意味		
①終わりまで...する。そこで終わりにする。「泳ぎー・逃(に)げー・使いー・言いー」	○	2.1250消滅
②これ以上ないほど...する。「澄(す)みー・困りー・にがりー・弱りー・勝ちー[=完勝する]」	×	2.1721境・間
③ずっと...する。「かかりー・詰(つ)めー」	×	2.1504連続・反復

4. 増補に使用した辞書『新明解国語辞典』第二版との比較

「切る」の意味(語釈と例文)	分類語彙表での有無	分類番号と項目名
一①(他五)○鋭い刃物などで、勢いよく二つの部分に離すようにする。「人をー[=(A)傷つける。(B)殺す]・たまをー[=庭球・卓球などで、たまに逆回転を与える打ち方を]・口をー[=(A)縫や封筒などの端を切って、出し入れ口を作る(B)沈黙を破って、物を言い出す]・行列をー[=横切る]・伝票をー[=発行する]・切符をー[=切符にパンチを入れたりして、正式に乗客・入場者と認める]」	○(2.1571) ×(2.3374) ×(2.3100) ×(2.1570) ×(2.1525) ×(2.3770)	2.1571切断 2.3374スポーツ 2.1570成形・変形 2.3100言語活動 2.1525連れ・導き・追い・逃げなど 2.3770授受 2.1571切断
○手やからだからだなどで空気を「切る○」ような動作をする。「空気を切って[=空中を突き抜けるようにして]飛んでくる・十字をー[=十字の形を手ではっきりと描く]・肩で風をー[=勢いよく進む]・先頭をー[=先頭に立って進む]」	○(2.1525) ×(2.1520) ○(2.3030) ○(2.1525)	2.1525連れ・導き・追い・逃げなど 2.1510動き 2.3030表情・態度 2.1525連れ・導き・追い・逃げなど
○局面が転換するような、思い切った事を何かする。「たなかをー・しらをー・みえをー・切り札をー[=出す]・礼びらをー[=見せびらかすように、人前に出・す(して使う)]・ハンドルをー[=鋭く動かして、方向を変える]・カーブをー」	○(2.3100) △(2.3030) △(2.3100) △(2.3770) ×(2.1730) ×(2.1730)	2.3100言語活動 2.3030表情・態度 2.3100言語活動 2.3770授受 2.1730方向・方角 2.1730方向・方角
㉑一続きのものの連絡を絶つ。「言葉をー[=そこで話をやめる]・スイッチをー[=操作して、回路を絶つ]・先着順十名でー[=申込者や入場者を限定する]・日限をー[=一定の範囲に限る]・水をー[=水分が無くなるようにする]・かたるをー[=相互に連絡が無いように、うまく交ぜる]」	×(2.1503) △(2.3850) ×(2.1721) ×(2.1721) ×(2.1251) ×(2.1550)	2.1503終了・中止・停止 2.3850技術・設備・修理 2.1721境・間 2.1721境・間 2.1251除去 2.1550合体・出会い・集合など
㉒そこまで到達しない範囲にとどまる。割る。「百メートル競走に十秒をー・元を切って売る」	×(2.1584) ×(2.1584)	2.1584限定・優劣 2.1584限定・優劣
二【接尾語的に】○余す所無く何かをする。「読みー(0)・言いー」	○(2.1250) ○(2.1250)	2.1250消滅 2.1250消滅
○限界に達して、それ以上堪えられない状態になる。とことんまで...する。「弱りー(4)(2)・困りー」	×(2.1721) ×(2.1721)	2.1721境・間 2.1721境・間

5. おわりに

➤ 分類語彙表増補改訂版の多義語の増補の状況を「切る」を例として観察した。その結果、多くの意味が掲載されていないことが分かった。原因として作業上のようなデータを使用したかに関わっているのではないかと推察された。他にも多義である語の中には同じように増補から漏れてしまった意味があるかもしれない。今後分類語彙表の改定の際の参考としたい。

文献・データ

➤ 国立国語研究所(編) (2004)『分類語彙表増補改訂版』大日本図書
➤ 分類語彙表増補改訂版データベース <https://github.com/masayua/WLSP/blob/master/bunruiddb.txt>